

グリーン四国

No.1226
2022年
5月号

「令和4年度四国森林管理局の 重点取組事項」を公表

【詳細は2頁】



宿屋杉（野根山街道）

目次

- ・「令和4年度四国森林管理局の重点取組事項」を公表…………… 2
- ・森林資源の有効活用による地域貢献を目指して…………… 4
- ・各署等のたより…………… 5
- ・新規採用者の紹介…………… 7
- ・令和4年度山地災害防止キャンペーン…………… 8



四国山の日

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30
TEL 088-821-2052
FAX 088-821-4834
HP <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>
E-mail shikoku_soumu@maff.go.jp

「令和4年度四国森林管理局の重点取組事項」を公表

〈局企画調整課〉

4月15日、「令和4年度四国森林管理局の重点取組事項」を公表しました。

公表にあたっての記者発表では、橋本裕治四国森林管理局長から、「四国の国有林の約7割がスギ、ヒノキを主体とする人工林となっている。その人工林の多くが資源として利用可能な時期となる中で、多様な森林づくり等により森林の公益的機能を発揮しつつ、豊かな資源の循環利用を図り、健全な森林を次世代へ継承するとともに、効率的な作業システムの確立や地域の森林・林業を担う人材の育成が重要な課題となっている」と挨拶し、具体的な取組内容を説明しました。

質疑応答では、樹木採取権制度や木材需給の動向、森林土木工事におけるICTの普及等について質問があり、当局の取組について理解を深めていただきました。

令和4年度の四国森林管理局の重点取組事項は、次のとおりです。



橋本局長の挨拶・資料説明の様子

四国森林管理局は、我が国の森林・林業の再生に向け、その組織・人材・資源を最大限に活用し、「新しい林業」に向けた取組の展開や、民有林への技術普及等による、森林・林業政策全体の推進を通じた地域経済の活性化への貢献にも努めてまいります。

【取組事項1】「新しい林業」に向けた取組

伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」の実現に資するよう、民有林の模範となるような低コストで効率的な事業の実施、技術開発、ICT

の活用等に努めます。また、「長期にわたる持続的な経営」を実現できる林業経営体の育成に努めます。



スギの大苗



機械地拵の状況

○造林の低コスト化に向け、伐採と造林の一貫作業システム、コンテナ苗・大苗の活用、下刈りの省力化、列状間伐や高性能林業機械の活用などに取組みます。

○木材の安定的な供給の実現に向けて、システム販売の実施、民国連携した木材供給等に取り組みます。

○複数年契約や樹木採取権制度を活用し、安定した事業量の確保、経営・雇用の安定や機械導入の環境整備につなげ、林業事業体の育成に取り組みます。

○コウヨウザンの育林技術の調査、集約化試験団地での実証などに取り組みます。

○ICTを積極的に活用し、現場管理を効果的・効率的に行います。

【取組事項2】人材育成

当局職員のみならず市町村の林務担当者、林業事業者、将来の森林・林業を担う人材を育成します。

○林業事業者の育成や市町村林務担当者のスキルアップに向けた現地検討会を開催します。

○将来の森林・林業を担う人材育成に向け、高校・大学等への講師派遣や現地実習などの支援を行います。

○市町村林業担当者実務研修の開催など、市町村の林務行政への技術的支援を行います。

○森林総合監理士活動の推進・活性化に取り組みます。



市町村林業担当者実務研修の様子



現地検討会の様子（架線集材）

【取組事項3】 獣害対策の推進

深刻化するシカ被害や、近年増加傾向にあるノウサギ被害の防止対策に取り組みます。

○囲いワナ等によるシカ捕獲や四国森林管理局が開発した「こじゃんと

1号」、「こじゃんと2号」の普及・設置指導、LPWAを利用したワナ見回りの実証など、シカ被害対策を推進します。

○防護柵及び忌避剤を用いた試験の実施やノウサギ捕獲用の小型箱ワナの開発など、ノウサギ被害対策を推進します。

○防護柵を破損する原因であるイノシシ対策の検討を行います。



小型囲いワナ「こじゃんと1号」

【取組事項4】 国土強靱化

近年の大雨や短時間強雨の増加により、大規模、多発化している自然災害から地域の安全・安心を確保するため、関係機関との連携も図りながら、以下の事項に取り組みます。

○国有林内の直轄治山事業を47箇所を実施します。また、民有林直轄治山事業を4地区で継続的に事業を実施します。

○災害時に備え、迂回路としても活用出来る重要な林道の整備・強化等を推進します。

○山地災害初動時における情報共有の円滑化を図るため、情報収集訓練の実施など、関係機関と連携し取り組みます。

○森林土木工事において、技術者の育成に取り組みるとともに、デジタル技術の活用を進め、発注者・受注者双方の負担軽減や安全確保に取り組みます。



治山事業の実施状況（四万十署）

【取組事項5】 森林の多面的機能の充実

多様で健全な森林づくりや、豊かな自然を育む森林の観光・産業資源としての活用に取り組みます。

○多様な森林づくり「見える化プロジェクト」として、育成複層林施業及び針広混交林への誘導など多様な森林づくりに取り組みます。また、点状

複層林の施業方法の検討を進めます。

○「日本美しの森 お薦め国有林」の魅力発信、「祖谷のかずら橋」の架替資材である「シラクチカスラ」の確保など、観光・産業資源としての活用

にむけ、地域と連携し取り組みます。○多様な国有林のフィールドを活用した植物の観察などの自然体験活動、木工教室による木育活動などの「森林環境教育」を実施します。



千本山風景林
（日本美しの森お薦め国有林）



地域の小学生を対象にした森林環境教育
四万十川森林ふれあい推進センター
令和3年6月

なお、令和4年度四国森林管理局の主な事業量は別表のとおりです。

参考 令和4年度 四国森林管理局 県別主要事業量

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県	計
伐採量 (収穫量)	主伐	26千㎡ (44千㎡)	21千㎡ (18千㎡)	58千㎡ (58千㎡)	506千㎡ (478千㎡)	610千㎡ (598千㎡)
	間伐	14千㎡ (12千㎡)	12千㎡ (9千㎡)	82千㎡ (78千㎡)	220千㎡ (215千㎡)	328千㎡ (313千㎡)
木材供給量	製品(丸太)	9千㎡ (7千㎡)	5千㎡ (3千㎡)	47千㎡ (47千㎡)	130千㎡ (128千㎡)	190千㎡ (186千㎡)
	立木	17千㎡ (18千㎡)	6千㎡ (5千㎡)	29千㎡ (29千㎡)	167千㎡ (169千㎡)	220千㎡ (220千㎡)
森林整備	植栽 (地帯を含む)	0ha (0ha)	22ha (18ha)	26ha (39ha)	180ha (198ha)	239ha (255ha)
	下刈り	7ha (7ha)	37ha (21ha)	89ha (66ha)	520ha (464ha)	653ha (557ha)
	間伐	83ha (66ha)	52ha (68ha)	566ha (566ha)	1,398ha (1,784ha)	2,081ha (2,483ha)
林道整備	新設	380m (549m)	420m (240m)	100m (340m)	1,409m (1,620m)	2,309m (2,749m)
治山事業	国有林野内直轄治山	7箇所 (9箇所)	2箇所 (2箇所)	7箇所 (8箇所)	31箇所 (36箇所)	47箇所 (55箇所)
	民有林野内直轄治山	13箇所 (18箇所)	-	-	17箇所 (20箇所)	30箇所 (38箇所)
	計	20箇所 (27箇所)	2箇所 (2箇所)	7箇所 (8箇所)	48箇所 (56箇所)	77箇所 (93箇所)

注) 事業量は、令和4年度当初予定の事業量で、令和3年度からの繰越事業量を含む。()内は令和3年度当初予定の事業量で、令和2年度からの繰越事業量を含む。
注) 各事業量は四捨五入により計が一致しない場合がある。



令和4年度
四国森林管理局の
重点取組事項



**森林資源の有効活用による
地域貢献を目指して**

業務管理官 島内 厚実



4月1日付で四国森林管理局業務管理官を拝命した島内厚実です。四国(高知市)での勤務は今回で2度目です。平成24年8月から平成26年3月まで四国森林管理局計画課長を務めた後、関東森林管理局(前橋市)、東北森林管理局(秋田市)、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林保険センター(川崎市)で勤務し、8年ぶりに戻って参りました。久しぶりに四国に戻ってきて、森林資源の状況を再度確認してきますと、人工林資源の豊富さに改めて驚かされます。全国平均では森林面積

の約4割が人工林であることに対し、四国では約6割が人工林です。国有林に限れば、7割近くが人工林です。藩政・明治時代から先人が築いてきた豊富な人工林資源、これをいかに有効に利用していくのか、現在を生きる私たちの課題と捉えています。

昨年6月に閣議決定された新たな森林・林業基本計画では、人工林資源の循環利用を推進しつつ森林を多様で健全な姿に誘導していくこと、新技術を取り入れて伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」を目指す取組を展開することなどが掲げられました。豊富な人工林資源を擁する四国の森林は、森林・林業基本計画に示された課題を実践していく絶好の舞台であり、森林資源の特性を活かして「新しい林業」を現実のものとするためには、伐採・搬出、再造林・保育のコスト低減を図りつつ人工林資源の循環利用を進めることが重要です。このため、四国森林管理局では、

林業のコスト低減に資する新技術の導入や技術開発に意欲的に取り組んで参ります。また、木材の安定供給に当たっては、森林共同施業団地の設定など国有林周辺の民有林と連携して取り組むことによって、地域林

業の活性化に貢献して参ります。

県、市町村の林務担当の皆様、森林組合系統をはじめとする林業業界の皆様におかれましては、民有林と国有林が連携した各施策の継続や発展に向け、ご協力をお願い申し上げます。

一方、四国の奥山には豊かな自然が残されており、九州では絶滅したとされるツキノワグマが、四国の奥山には今も生息しています。このような自然豊かな森林環境を保全していくことも森林管理局の重要な使命です。また、多くの皆様に風光明媚な森林を訪れていただき、森林の大切さや自然の豊かさを実感していただけるよう、優れた自然景観を有する四国の国有林5箇所を「日本美しの森 お薦め国有林」として選定しています。

四国森林管理局では、現地の国有林を直接管理している森林管理署等とともに、観光資源としての利用を含め、森林資源を有効活用して地域に貢献して参ります。私も四国森林管理局の一員として、地域に貢献できるように努めて参りますので、よろしくお願ひ申し上げます。最後に、新型コロナウイルス感染症の流行が一日も早く収束し、穏やかな日常が戻ってくることを心から願っています。

各署等のたより



滑床山開き

〈四万十川森林ふれあい推進センター〉
〈愛媛森林管理署〉

4月27日、愛媛森林管理署管内滑床山国有林の「滑床溪谷」で、松野町などが主催する恒例の「滑床山開き」が行われました。



滑床山開き神事の様子

山開きの神事には、環境省土佐清水自然保護官など関係者や、地元の松野東小学校と松野西小学校の3・4年生児童計27名の「緑の少年団」のほか藤平康則愛媛森林管理署長が

出席し昨年度より多い60名の参加で厳かに神事が執り行われ、滑床溪谷利用者の安全を祈りました。

あいにくの雨の中ではありませんでしたが、代表児童によるアメゴの放流も行われました。



森林教室「森」

山開き神事終了後には、当センター職員が「緑の少年団」に、紙芝居「森」を披露し、「森林を守り育てることの大切さを伝えました。滑床溪谷は、自然休養林及び国立公園として利用されるようになって半世紀を

過ぎた歴史ある地でもあるので、当センターでも、この滑床の自然の素晴らしさを、地元の児童に森林環境教育を通して引き続き伝え、利用者には安全で快適に利用してもらえよう巡視等も続けたいと考えます。



緑の少年団による稚魚放流

松野町ではキャニオニング利用や平成30年の西日本豪雨で倒壊した橋の修理やキャンプ場の整備に着手することとし、これからも滑床の良さを発信しながら、利用拡大を図っていくこととしています。

また、この春先には、「鬼ヶ城3ピークストレイルランレース」が3年ぶりに開催され、滑床もメインコースとして利用されました。愛媛県南予九市町が主催する「えひめ南予ぎぎな博」の開催と相まってますます「滑床溪谷」の利用者が増加しつつです。

安芸森林管理署 野友・北川、安倉森林事務所庁舎が完成

〈安芸森林管理署〉

安芸森林管理署 野友・北川、安倉森林事務所は、高知県東部に位置し、奈半利町、田野町、北川村の3町村の国有林を管理しています。

その庁舎は昭和53年に旧北川製品事業所として建築されたものですが、経年劣化が著しく、敷地内へ新庁舎を建築することになり、四国森林管理局管内の森林事務所としては、約10年ぶりの令和4年2月に新森林事務所（延べ面積67㎡）が竣工し、令和4年3月中旬から新庁舎での執務を開始しました。



天井部

CLTパネル

新庁舎には、高知県産の木材（杉・檜を約14㎡）をふんだんに利用するとともに、事務室と更衣室等の間仕切り壁にCLTパネル（3層）を使

用した造りとなっています。
また、下駄箱・書庫・ブラインドボックスも木材を利用しては、木の香りと温もりを漂わせる事務所となりました。



下駄箱・書庫等 庁舎正面

野友・北川森林事務所管内には土佐藩が参勤交代に利用したことで有名な野根山街道があり、その街道沿いには既に倒壊しましたが樹齢千年以上といわれる宿屋杉（表紙写真）もありますので、一度散策されてみてはいかがでしょうか。

春の「緑の募金」街頭募金活動 皆さんの善意で森林づくり

〈局技術普及課〉

4月17日、爽やかに晴れ渡った青空の下、公益社団法人高知県森と緑の会の主催による春の「緑の募金」街頭募金活動が、高知市の中央公園一帯で行われました。



中央公園での出発式で高知市環境部長からご挨拶をいただいた後、緑の少年団やボランティアの皆さんと一緒に少しずつ人出の戻り始めた中央公園付近で募金活動を行い、橋本裕治局長も募金にご協力いただいた方々に花の種や「高知の山歩き手拭い」等のグッズを配布しました。

今年も感染症対策を考慮し声かけは控えめとなったイベントでしたが、多くの皆様から心のこもった募金が集まりました。

ご協力いただいた募金が、森林整備や緑化推進、子ども達への森林環境教育、そして木の文化の普及活動の一助になることを期待します。

しまんと製材工場竣工式 および落成記念式典

〈局資源活用課〉

最新鋭設備を導入し、大径材にも対応が可能となる「しまんと製材工場」の竣工式および落成記念式典が4月27日、高知県四万十町で執り行われ、高知県知事のほか、橋本裕治森林管理局長が出席しテープカットを挙行しました。



しまんと製材工場は、協同組合高幡木材センターの組合員である（有）関西木材建設、伊藤製材（有）、共栄興産（有）、上村製材所の4社が協同で事業を実施することとして、四万十町に建設されました。最新鋭の製材機械とバイオマスボイラーによる乾燥機を



最新鋭の製材機械（ツインバンドソー）

導入するとともに、機械等級区分のJAS材に対応するグレーディング設備を併設しています。一般の住宅向けはもとより、需要拡大の見込まれる非住宅分野向けの高品質な製材製品を安定的に供給することとしています。

竣工式および落成記念式典には、高知県や四万十町、林業関係者ら約150名が出席し、濱田知事からは「地元の良質な杉・檜が高品質な製品として県内外に安定的に供給される体制が整った」「新たな雇用の場が生まれ、中山間地域の活性化につながるものと期待している」と祝辞が述べられました。

当工場における原木消費量は、今年度2万5千m³を目指し、2年目以降は4万m³が計画されています。

新規採用者の紹介

- ① 出身地
- ② 趣味・特技
- ③ 社会人になっての抱負

治山課
森本 崇斗



- ① 岡山県
- ② 剣道、音楽鑑賞、車
- ③ 少しでも早く知識を身につけて、仕事を楽しめるように頑張っていきたいです。また、分からない点が多くあり、お仕事をすることで、上司の方にご迷惑をおかけすると思いますが、焦らず精進していきたいと思います。

森林整備課
松戸 瑠唯



- ① 高知県
- ② 釣り、料理、自転車
- ③ 林道についての専門知識がありませんが、これから勉強して仕事のできる大人になりたいです。頑張ります。

香川所
石本 雄大



- ① 香川県
- ② ボウリング、釣り
- ③ 幅広く知識を得て、様々な仕事に対応できるような職員を目指して頑張っていきたいです。

香川所
伊佐 林里子



- ① 沖縄県
- ② YouTubeを見る(K-POP、東海オンエア、ゲーム配信)、スポーツ(ラケット競技)
- ③ 総務グループなので、しばらくは直接森林に関わることはありませんが、現場や担当者の方をサポートできるように頑張りたいと思います。また、業務グループの業務内容の理解や林学の勉強をしていきたいと思います。森林が好きで林野庁に入らせていただいたので、その気持ちを忘れずに、楽しんで働きたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

徳島署
佐藤 ひより



- ① 徳島県
- ② 音楽・ドラマ鑑賞、野球観戦、楽器演奏
- ③ 林業に関する知識が全くないので、一から知識を身につけ、深めていきたいです。右も左も分かりませんが、はやく職場に馴染み、森林を扱う仕事に慣れるよう精進します。

愛媛署
青山 侑馬



- ① 大阪府
- ② テニス、ギター、野鳥観察
- ③ 新しい趣味を見つけていきたいです。職場での仕事、署での仕事に早く慣れてスムーズに業務が進むように力を発揮していきたいです。

四万十署
川村 成世



- ① 高知県
- ② スポーツ、サウナ、筋トレ、ボウリング
- ③ 高校でも林業に関する内容を勉強していましたが、まだまだ仕事の知識が足りず分からないことばかりなので、たくさん勉強して少しでも早く仕事に馴染むことができるように日々まじめに精進していきたいと思います。

嶺北署
田村 翔太



- ① 広島県
- ② 登山、テニス
- ③ 山が大好きなので、林野庁の職務に就けることを嬉しく思っています。国有林野の管理に早く貢献できるよう、日々精進していきたいと思います。

高知中部署
立石 将彬



- ① 鹿児島県
- ② 相撲、ソフトボール、野球
- ③ 社会人になってから不安しかありませんが、日々精進して知識と教養を身につけて成長していきたい、先輩方と同じ立派な社会人になれるようにしていきたいと思うのでよろしくお願いいたします。

安芸署
小川 隆平



- ① 高知県
- ② 車でドライブ(MT車)、サッカー、プラモデル製作
- ③ 高校の3年間に森林に関する学科で勉強してきたので、その知識や経験を日本の森林のために生かせるようたくさんの仕事ができるようになりたいです。

山地災害に 備える

情熱と知恵と科学で
守る山

山地災害防止標語コンクール最優秀賞 菅伸明（愛媛県 新居浜市）

▲山地災害防止写真コンクール最優秀賞 山本 竜太郎（北海道 函館市）

令和4年度 山地災害防止キャンペーン



期間 令和4年 5月20日(金) — 6月30日(木)

主催 林野庁 / 都道府県 / 市町村

協賛 (一社) 日本治山治水協会